

1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 令和2年5月25日

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4670103060
法人名	医療法人 仁愛会
事業所名	グループホーム 笑憩の里
所在地	鹿児島県鹿児島市吉野町5221-1 (電話) 099-295-8650
自己評価作成日	令和2年3月20日

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://www.wam.go.jp/content/wamnet/pcpub/top/
-------------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	NPO法人自立支援センターかごしま福祉サービス評価機構
所在地	鹿児島県鹿児島市星ヶ峯四丁目2番6号
訪問調査日	令和2年5月11日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

・入所前には、ご本人ご家族だけではなく入所前の介護支援専門員や施設の相談員と直接お会いして意向や不安を伺いケアプランやケアに反映しています。

・入居者様に安全で安心して頂けるよう目配り気配りに努めています。

・毎月第4木曜日は災害時に備えた自主防災地震対策を実施しています。災害時に備え、備蓄食料品を定期的に賞味期限等をチェックしています。

・天気の良い時には園庭の花を見たり、桜島を眺めながら散歩や日光浴を行っています。

・レク活動は、曜日で内容を変えてゲームを楽しんで頂くようにしています。音楽に合わせて体操したり歌や回想などは毎日行っています。

・毎月、最終火曜日はフラダンスの先生をお迎えして先生の手の動きに合わせて、出来る範囲で入所者様、職員も踊っています。

・行事やお祝い時に写真を撮って一人一人のアルバムに収めています。

・月1回の訪問診療や体調の変化が観られた時には病院の看護師に相談するなど適切な医療に繋げています。

・入居者様を敬い虐待をしない誠実な施設を目指しています。

・質の高い接遇を行い信頼される介護を目指しています。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

・当事業所は、母体医療機関近くの障がい者施設に隣接して建てられている。事業所全体でケアに取り組む体制が新たに築かれている。

・理念を毎朝唱和し全職員が理念を共有し、身体拘束をしないケアを目指して取り組んでいる。

・年2回昼夜想定で地域の協力のもと、消防署・消防団・地域住民との合同避難訓練を実施しており、今年度は、地域住民に車いす操作の講習も実施する予定である。自主防災の日を毎月設け、非常時の器具や食料の備蓄の点検に取り組む等、防災に積極的に取り組んでいる。

・管理者は、記録時間の短縮を図れるよう書式等を見直し、働き方改革の一環として就業環境の改善に取り組み、休憩時間の確保等を行っている。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	・笑憩の里の基本理念「ゆっくりたのしくゆったりと」に添って過ごして頂けるように急がず慌てず利用者様とのコミュニケーションに努めるよう毎日朝礼時と月1回の職員会議で理念を唱和している。	理念を見直し、パンフレットや玄関・廊下に掲示している。毎朝唱和し、月1回の勉強会やカンファレンスでケアを振り返り、事業所全体で理念に沿ったケアの実践に繋げている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	・運営推進会議や施設行事、年2回の合同避難訓練に地域住民の方や消防団に呼びかけ交流を図っている。	消防団や住民の協力で合同避難訓練を実施したり、散歩時の住民や子供たちとの挨拶や住民からの花苗や野菜の差し入れ等、地域住民との交流を図っている。	
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている。	・地域の事業所の方々と会議を通じて意見交換を行って地域の方への発信をしている。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	・町内会長、民生員、長寿あんしん相談センターの職員、利用者様、御家族様、笑憩の里施設長に参加して頂き、活動報告、意見や提案を伺い時には第三者の立場から厳しい意見も頂き運営に反映している。	2ヶ月に1回運営推進会議を開催し、ヒヤリハットを含めた事業所の状況報告と意見交換を行っている。「専門用語を避けてわかりやすい言葉を」との助言から、家族等との会話にも活かしている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。	<ul style="list-style-type: none"> 市の相談員を受け入れ行政の制度の改正や実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら協力関係を築いていくように心がけている。 	市の担当者とは、日頃から事故報告や相談に出向いて助言を受ける等、積極的に連携を図っている。生活保護担当者とも同様に協力関係を築いている。市主催の研修会に参加している。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	<ul style="list-style-type: none"> 身体拘束は絶対にあってはならない事を常に守り、年4回以上の勉強会や法人、外部研修に参加して正しく理解するよう取り組んでいる。 利用者様にとって危険を感じた場合などやむを得ず行う場合はご家族、法人、医師との話し合いを持ってケアに取り組んでいる。 行った場合は記録と拘束時間を残すようにしている。 	委員会や研修会を3ヶ月毎に実施し、法人等の研修会にも参加している。身体拘束の報告事例があり、全職員が身体拘束について再認識する機会となった。玄関の施錠はせず、外出希望の素振り等を察知したら声掛けや一緒に散歩をして対応している。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	<ul style="list-style-type: none"> 職員間で皮膚観察や言葉での虐待が無いように気を付けている。 職員は心のゆとりを持ち利用者様を敬い、虐待をしない、隠さない、嘘をつかない誠実な施設を目指している。 		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	<ul style="list-style-type: none"> 花倉病院の地域連携室と連携している。 法人研修、外部研修に参加し理解を深めている。 研修に参加した職員から研修報告書を提出してもらい、職員会議で報告してもらっている。 		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	<ul style="list-style-type: none"> ・入所時に十分な説明を行ない理解して頂いた上で契約を行っている。 ・変更や改正時の場合は速やかにご家族に連絡し理解や同意を頂いている。 		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	<ul style="list-style-type: none"> ・2ヶ月に1度運営推進会議を行い利用者様とご家族の意見を伺い運営に反映している。 ・毎月手紙（メッセージ）を郵送し行事の案内や取り組みについてお知らせしている。 ・季刊笑顔だよりを郵送している。利用者様の様子を伝え運営に反映させている。 	利用者には、日常の会話や介護相談員との面談で要望等を聞いている。家族には、運営推進会議や行事・面会時に要望等を聞いている。「歩行訓練をさせて欲しい」との要望に、利用者の身体状況を説明し、家族の理解を得た事例がある。	
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	<ul style="list-style-type: none"> ・月に1回以上の業務カンファレンスや月1回の職員会議で職員の意見や提案を聴く機会を設けて反映させている。 ・個人面談で意見を聞くようにしている。 	朝礼や業務カンファレンス時に、業務改善やケアの統一等についての意見を検討し、全職員の賛同を得た上で反映させている。管理者は、必要時に個別面談を実施したり、職員からの個別相談を受けている。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。	<ul style="list-style-type: none"> 毎月希望休や有休希望を確認して勤務表を作成している。 ・休憩時間がしっかり取れるよう職場環境の整備に努めている。 ・オンコール体制の整備がある。 		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>・月1回の職員会議での内部研修や法人内研修、外部研修に参加してもらい働きながら知識を高めてもらうようにしている。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>・地域のよかど会の勉強会に管理者と共に職員も交代で参加し同業者と交流が持てるようにし、サービスの質の向上に取り組んでいる。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	・入所前に訪問したり、ご本人そのご家族に見学して頂き、不安や要望を聴く体制を整えている。 ・新しい生活に馴染めるように不安な事など情報収集を行い、関係づくり努めている。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	・入所前にご家族の不安なこと、要望や今後の生活の希望に耳を傾け安心して頂けるように努めている。また、情報を共有し信頼関係が築けるよう努めている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	・あらゆる場面で情報収集を行い最善のサービス提供ができるように努めている。 ・関係機関との連携を図りより良い支援ができるよう努めている。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	・まずは、ご本人の話を聴くこと、あらゆる情報の中からご本人の思いをくみ取り接している。 ・自分の家族という思いで利用者様には尊厳を持って接している。 ・家事協働時には「ありがとう」と感謝の意を伝えている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	<ul style="list-style-type: none"> ・ご本人の意志を尊重し、ご家族の思いを受け止め協力を得ながら支援している。 ・月1回手紙（メッセージ）を送り情報を共有している。 		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	<ul style="list-style-type: none"> ・外出や電話支援をして関係が途切れないように努めている。 ・入所前のアセスメントで馴染みの人や関係性などの情報を得るようにしている。 	感染症の為、面会禁止を行っているが、電話や窓越しの面会を支援し、家族との関係が途切れないように努めている。通常は、気軽に面会に来てもらったり、家族との受診や美容室・外食・外泊等を支援し関係継続に努めている。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	<ul style="list-style-type: none"> ・日中レクリエーションや対話の機会を設けている。 ・会話ができない利用者様も孤立しない様に他の方たちの輪の中に交わって頂くようにしている。 		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	<ul style="list-style-type: none"> ・入院や転所された場合は、お見舞いに行ったり、ご家族へ連絡し様子を伺ったり、関係性を大切し、相談や支援に努めている。 		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	・安心して落ち着いた生活が送れるように職員一人一人が利用者様の希望、意向の把握に努め情報を共有している。	日常の会話の中から本人の思いを把握するように努めている。困難な場合は、家族や入居前のサービス事業所等からの情報を参考に、本人の表情や仕草等で推測して支援している。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	・ご本人やご家族とコミュニケーションを通じて一人一人の生い立ちや生活歴を把握し支援している。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	・一人一人の身体状態に合わせて体操やレクリエーションなど工夫している。 ・入所時は24時間シートで1日の過ごし方を把握するようにしている。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	・身体状態や生活状況の変化が生じたが場合、アセスメントやモニタリングを行い職員、ご家族、関係機関とケースカンファレンスを実施し現状に応じて介護計画を作成している。	担当者会議は、訪問診療に合わせて家族・職員で実施し、カンファレンスで出された職員の意見を入れて介護計画を作成している。モニタリングは3ヶ月毎に実施し、1年に1回及び状況変化時に計画を見直している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・朝夕の引き継ぎ時情報交換を職員間で行い、些細な変化も見逃さない様に努めている。 ・日勤夜勤で個別に記録を残し支援に活かしている。 ・情報の共有を怠らない様に努めている。 		
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・病院受診支援や個別の外出など支援し柔軟な対応をしている。 ・ご家族の状況を把握しておりご本人の状況に応じた柔軟な支援に努めている。 		
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ボランティアや地域の方の訪問を受け入れ入居者様との交流や同伴外出など楽しみが持てるように努めている。 		
30	11	<p>○かかりつけ医の受診支援</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・契約時には、かかりつけ医をどうするか希望を伺い関係の継続に努めている。 ・かかりつけ医を変更する場合は情報提供を行い医療の継続に努めている。 	<p>契約時に希望のかかりつけ医を確認している。かかりつけ医及び歯科医の訪問診療利用や家族対応の受診で、適切な医療を受けられるよう支援している。緊急時は、かかりつけ医の指示で対応している。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中であらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・月1回の訪問診療時は、医療機関への情報提供を行い連携を図っている。 ・急変時は、FAXと口頭にて連絡し相談をしている。 		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・入退院時はカンファレンスを開催し状態の把握に努め受け入れ体制を整えている。 ・ご家族の意向も伺い早めに退院できるよう病院関係者との連携に努めている。 		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・入所契約時に書面で説明し家族の意向を伺っている。 ・入院3週間目で、サービス担当者会議を開催し医療関係者と今後の方向性について話し合う機会を設けている。 	<p>契約時に重度化等の対応について説明し、延命処置や希望の入院先も含めて同意書を得られている。介護計画の見直し毎に家族の意向を確認し、重度化や緊急時に意向に沿って支援に取り組んでいる。</p>	
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・対応マニュアルと急変や事故発生時のフロチャートを作成している。 ・年1回事業対策委員による勉強会を行い実践力が身に付くように努力している。 		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・月に一回自主防災の日を設け、防災に関わる訓練を行っている。 ・年2回の合同防災訓練は地域の方々の協力を頂いています。 	<p>年2回昼夜想定で避難訓練を、消防署・消防団・地域住民の参加協力で実施し、自主訓練も毎月行っている。非常用の水・カップ麺・缶詰等を備蓄している。居室に防災頭巾を準備している。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	<ul style="list-style-type: none"> ・優しく丁寧な言葉を心がけています。 ・ゆっくりと話しかけゆっくりと、話を聴いています。 ・利用者様を敬い、虐待しない、虐待を隠さない嘘をつかないことに心がけている。 	研修会を実施し、理念に沿った対応・接遇や「ひとりの人として対応して欲しい」という利用者の気持ちを大事にした言葉遣いや対応を心掛けている。朝礼時等は、内容が利用者に聞こえないように気を付けている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	<ul style="list-style-type: none"> ・話しやすい声掛けををし、話しを引き出せるよう努めてます。 ・感情表現に「援助」という目的を持って耳を傾け大切に受け止めるようにしています。 		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者様のペースに合わせて、過ごして頂いてます。 		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している	<ul style="list-style-type: none"> ・その日の気候や利用者様の体調に合わせて衣類調整を行っています。 ・利用者様の着たい衣類を聞き支援しています。 		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	誕生日等の時、利用者様の好みの食べ物を聞きメニューに取り入れています。 ・一緒にできる利用者は限られていますが、できる方には声かけして一緒に行っています。	献立は職員が作成し、下ごしらえやテーブル拭きを一緒にしている。菜園や差し入れの野菜等も取り入れ個々に合わせた食事形態で提供している。行事食や誕生日の好みのメニューの提供等、工夫している。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	・水分補給は、時間を決めて行っている。 ・食事量、水分量を把握し、形状は個別に工夫している。 ・水分は飽きないように数種類準備している。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	・個人の状況に合わせて支援している。 ・定期的にポリデント支援を行っている。 ・ブラシ等は口腔状態に合わせて用意している。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	・個人の状態の情報を共有し時間に合わせてトイレ誘導している。 ・立ち上がりや移動を見守り、トイレ誘導を支援している。	個々の状態に応じて声掛けや誘導・見守り・確認を行ない、昼間はトイレでの排泄を基本に支援している。夜間は、身体状況等によりポータブルトイレやパット使用者もいる。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	<ul style="list-style-type: none"> ・カスピ海ヨーグルト、緩下剤などで調整している。 ・排泄状態により、腹部マッサージや軽体操などをとりいれている。 		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	<ul style="list-style-type: none"> ・体調も見ながら柔軟に行っている。 ・体調が悪い時は清拭対応している。 ・ゆったりと入浴を楽しんで頂けるように個々に応じた入浴を支援している。 	週2回午前中の入浴を基本に支援している。浴槽にゆっくり浸かったり、身体状況や体調によりシャワー浴・清拭等を行っている。嫌がる場合は、声掛けを工夫し、入浴支援を行っている。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	<ul style="list-style-type: none"> ・午睡を支援し休息して頂いている。 		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	<ul style="list-style-type: none"> ・服薬時は職員間でダブルチェックを行っている。 ・病状の変化等あった場合医療機関へ連絡し指示を仰いでいる。 		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
48		<p>○役割、楽しみごとの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・家事協働（洗濯物たたみ、お盆拭き、もやしの根ちぎり）などしていただいている。 ・して頂いた時には、職員から感謝の言葉で役に立っている事を実感して頂くようにしている 		
49	18	<p>○日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・買い物、病院、外出等利用者様やご家族の方と連携を図り外出支援をしている。 	<p>敷地内や近隣の散歩を日常的に行っている。その日の天候や希望等で近隣施設の小動物を見に行ったり、ドライブや職員の買い物に同行する等している。家族の協力で、受診や美容室・外食・外泊等に出かけられるよう支援している。</p>	
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・金銭出納帳（個人分）から必要な物、本人が希望する物を購入支援している。 ・買い物支援時にはご本人が支払を行っている。 		
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・家族からの電話の取次ぎの支援をしている。 ・年賀状や誕生日カードなど家族から届いている。 		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	<ul style="list-style-type: none"> ・玄関や居間に季節に応じた飾り付けをしている。 ・居室にはカレンダーや家族との写真を貼り生活感や季節感を味わって頂くようにしている。 	玄関に飾られた季節の花やリビングの飾りつけで季節感を味わえるよう工夫している。食堂とリビングが別室になっており、換気や空調が適度に行われている。利用者は、日当たりの良いリビングで庭の桜を眺めたり、ソファでくつろいで居心地よく過ごしている。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者のトラブル等がない様に席の配置を利用者と話して決めている。 		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者が使いやすい様に家具の配置をしている。 ・家族の写真等見やすい場所に飾っている。 	居室に押し入れとエアコン、状態に応じて電動ベッド等がある。本人や家族がテレビやラジオ・姿見の鏡・タンス・写真・ぬいぐるみ等を持ち込み、居心地よく過ごせるようにしている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	<ul style="list-style-type: none"> ・日付けが解る様に居室にカレンダーを貼っている。 ・環境整備に努めている。 ・居室のサッシ（非常口）前には物を置かないようにしている。 		

V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1 ほぼ全ての利用者の
			2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1 毎日ある
			2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
		○	3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1 ほぼ全ての家族と
			2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ毎日のように
			2 数日に1回程度ある
		○	3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)		1 大いに増えている
		○	2 少しずつ増えている
			3 あまり増えていない
			4 全くいない
66	職員は、生き生きと働いている。 (参考項目：11, 12)		1 ほぼ全ての職員が
		○	2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての家族等が
		○	2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない